

インターナショナル・ハウス・オブ・プレイヤー（国際祈りの家：IHOP） - マイク・ビックル 預言的歴史を覚える（2019年）

セッション4 スタジアムへの行列、四輪馬車、時の砂

I. スタジアムへの行列と油注がれた若いリーダーたち（1984年7月3日）

- A. 1984年7月3日、ボブ・ジョーンズは、ダビデの時代に契約の箱が運ばれた時のように、若いリーダーの集団によって主が高く上げられ、運ばれるのを見ました（第2サムエル6章）。将来、神はこれらの若者を立て上げ、彼らが使徒の働きで見られるように、偉大な力を伴って福音を宣べ伝え、病人を癒すための油が注がれるでしょう。彼らは、そのミニストリーを通して癒された人々の大行列を率いていました。通りの両側には何千人もの人々が並び、グランドビュー通りからアローヘッドスタジアムに向かって、ブルーリッジ通りを行進しているのを眺めていました（スタジアムまでの20km弱を歩くのに約4時間かかります）。ボブは、「主が、イザヤ35章で強調されているように、彼らを『聖なる大路』を歩いている者」と説明し、その数は約35人ほどであると推測しました。
- B. ボブは病院の患者着を着て行列を見ていました。主はボブに、「わたしがマイクのもとを訪ねよう。わたしの前に立ち、これら将来のリーダーたちに会うことを許可するとマイクに伝えよ」と語りました（私たちの教会は当時15分ほど離れた所がありました。翌年、ブルーリッジの隣のグランドビュー通りにあるFCビルに引っ越しました）。
- C. ボブ・ジョーンズの言葉より：「1984年7月3日、主は言われました。『これらの若者たちは、わたしを高く掲げ、生涯を通してわたしに栄光を捧げ続けてくれる人たちである。彼らを通して、わたしが力を解放していこう。彼らはリーダーになる。わたしは彼らを整えて、神の栄光を現わそう。彼らはそれをイザヤ35章の聖なる大路を通してもたらすだろう』」
1. 主は言われました。「詩篇12篇1節から、『主よ、聖徒が減びるのを助けてください』、『主よ、助けてください。あなただけを掲げる誠実な者はいないのです』と祈り、声をあげよ」主は続けて、「ボブ、わたしはそのような祈りに答えよう」また、「あなたの信仰が無くならないように祈りなさい」と言われました。

「主よ。お救いください。聖徒はあとを絶ち、誠実な人は人の子らの中から消え去りました。」
(詩篇12：1)
 2. 「非常に多くの指導者が、不道德、お金、または名声に自分を売り渡し、神に恥をもたらしました。神はそうならない若者を育てています。彼らは生涯を通して主に仕え、最後まで忠実を通します。神を高く掲げ、神以外に何ものをも崇めないことが、神が育て上げる若い人々に課せられた条件なのです」
- D. 1984年8月のある夜遅く、オーガスティンが私に電話をかけてきて、「主は今夜あなたを訪ねてくるでしょう」と語りました。その夜、幻想的な体験で、私は約15メートル四方の天国の部屋の中に立っていました。

「私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に--肉体のままであったか、私は知りません。肉体を離れてであったか、それも知りません。神はご存じです、--第三の天にまで引き上げられました。」（第2コリント12：2）

- E. 主は、三度、毎回厳しさを増して、このように言われました。「若い人よ、もし忍耐を持たないなら、あなたは多くの人々に大きな被害と混乱を引き起こすだろう」このことを聞いて、私は悲しみに苛まれ、自問自答しました。「なぜ私が叱責されなければならないのだろう。でも、今、神と話しているのだから、これは正しいに違いない。また後で整理しよう」そこで、私は主に「はい、分かりました」とだけ答えました。
- F. 神の力のミニストリーに召されていることを象徴する金色の四輪馬車の列を見ました。それは数えませんでした。50台余りのようでした。その馬車の1台が私の方へ近づいた時、主は「四輪馬車に乗りなさい」と言われました。私はそれが力の伝道について語っていることを悟りました。それは招待状であり、仕事の依頼ではありませんでした。私はひれ伏して叫びました。「主よ、無理です！」すると、主は言われました。「馬車に乗りなさい。それはあなたのために定められたものだから」私は泣きながら、「私のような者がその馬車に乗るのは間違っています」と叫びました。二人の天使が私を迎えに来て、馬車に乗せました。馬車は、広大な青い天空へと引き上げられていきました。私は、その青い天空が、神の知識の啓示について語っていることを悟りました。
- G. 私は肩越しに、また別の人が四輪馬車の1つに乗るよう命じられているのが見えました。彼もまた、「いいえ！無理です！」と叫んでいました。それから彼の後にも他の人に同じ状況が聞こえました。それぞれが、今後数年間で油そそがれるであろう若者たちを現していましたが、彼らの顔は見えませんでした。
- H. 主の語られた言葉は、強制的口調の警告でした。新訳聖書の忍耐という言葉は、しばしば耐え忍ぶことと訳されます。それは、特に誘惑や障害、また遅れていると感じる時、従うことについて語っています。忍耐の反対は途中でやめてしまいます。

「使徒としてのしるしは、忍耐を尽くしてあなたがたの間で行われた、しるしと不思議と力あるわざです。」（第二コリント12：12）

1. イエスは、リーダーシップを発揮するように召された人々に、次のように忠実さを貫くことを求めています：
 - a. さまざまな誘惑や虚偽の告発にあっても、義に立ち、憐れみの愛で愛すること。
 - b. たとえ神の約束の成就が遅れても、神を慕い求めることに熱心であり続けること。
 - c. 平凡な日常、障害、不当な扱いを受けることなどに直面した時に、神の価値観を手放さない忠実さ。
 - d. 私たちの発するメッセージや、自分の召しによる働きについて批判された時にも、揺るがないこと。
 - e. 迫害（脅迫、投獄、殴打、死など）に直面したとき、最後まで耐え抜く力。
2. 私はこれらの価値観を受け入れ、忍耐しても、5年から7年ほどすれば去って行った多くの人を見てきました。年をとればとるほど、また忙しく、裕福になるにつれて、彼らはゆっくりと離れていきました。

II. 時の砂（1979年1月）

- A. 1979年1月、主はボブ・ジョーンズに浜辺の砂のビジョンを示し、「聖霊によって油そそがれた若者の世代が立ち上がる」と告げました。

- B. ボブ・ジョーンズの言葉より：「1979年1月、主は私を浜辺の砂のビジョンに連れて行き、それを**時の砂**と呼びました。海は地球の国々を指していました。数世代のリーダーたちが手を砂浜に突っこみ、箱を掘り出して、『今がその時ですか？』と言っているのを見ました。箱の中には何もありませんでした。彼らが『今こそ、約束の時ですか？』と言うのが聞こえましたが、それは彼ら世代のためではありませんでした。主は私に箱を掘り出すために『時の砂』に手を伸ばすように言われました。私は『主よ、箱は全部空です』と言いましたが、神は『箱を開けなさい』と命じられました。箱を開けるとその中に徴兵通知があり、私はとても驚きました。『ようこそ、あなたは神の軍隊に徴兵されました。』との声があり、神が言われました。『これからすぐに、このような通知を私の定めたリーダーたちに送り届けよう』主はその時、神の軍隊の将校を徴兵していました。彼らの召しについて、段々明らかになってきました。その時から世界中の人々が召し出され始めました」
- C. 主はボブに、「次の世代では、終わりの時に御子を現すために、多くの家系の中で最も優れた血統を立ち上げる」と語られました。ボブは、「彼の後に来る世代は、それ以前の世代とは比べ物にならない霊の深さを歩むことになる」と説明しました。そして「彼らの子供と孫の世代はこれまで地球に存在したすべての世代の中で最も優れた世代になるだろう」と続けました。